

新内閣に期待！？ 最新アンケート報告

## 住宅業界の野田内閣への期待度は「60.6%」

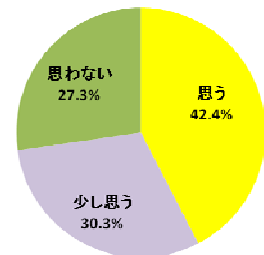
前田武志国土交通相が8日、2011年度第3次補正予算案で「住宅エコポイント」、「フラット35Sの優遇金利」について再開する意向を示しました。HomePLAZA 総研（本社：東京都港区）では、住宅販売・リフォーム関連企業の広報及び販売担当132人に電話によるアンケートを実施しました。

### Q.1【住宅エコポイント】は効果があったと思いますか。

（効果があったと）「思う」、「少し思う」と回答した人は72.7%でした。回答理由として、「住宅エコポイントについての質問が多くあった」、「エコポイントの対象となるリフォームが増えた」などが数多くあげられました。

特に「思う」と回答した人の71.4%がリフォーム関連企業という結果となりました。

【住宅エコポイント】は効果があったと思いますか。

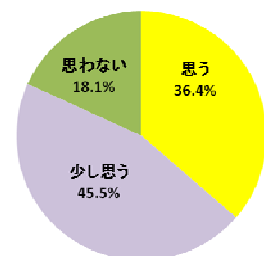


### Q.2【フラット35S】の1%金利優遇は効果があったと思いますか。

（効果があったと）「思う」、「少し思う」と回答した人は、合わせて81.9%でした。回答理由として「総支払額で見ると金利1%優遇は大きいから」と答える人が多くいました。

また、1%金利優遇は効果的だったと回答するも「お客様の（フラット35Sの）認知度が低かった」ことを理由に「少し思う」に留める人も多くいました。

【フラット35S】1%金利優遇は効果があったと思いますか。

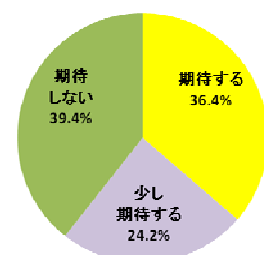


### Q.3【野田新内閣】に期待をしていますか。

「期待している」、「少し期待している」と回答した人は60.6%であり、「期待していない」の39.4%を上回りました。

増税を心配する人もいましたが、多くの人が（日本経済の復興に期待を込めて）「期待する」もしくは「少し期待する」と回答しています。

【野田新内閣】に期待をしていますか。



(電話によるヒヤリング調査：9/9～11実施)

「住宅エコポイント」、「フラット35S金利優遇」の再開については、終了期限が前倒しになったこともあり、今後も継続するべきだと回答する人が多くいました。また、財源確保の問題から賛否両論ある住宅ローン減税（住宅ローン控除）の拡大や贈与税の非課税の特例枠など、税制改正にも期待したいという声が多くありました。